



福祉だより
ぬくもり

第132号
2024年2月25日

西宮市北六甲台地区
社会福祉協議会
会長 日高 昭夫

●発行/北六甲台地区社協●発行日/偶数月●編集/北六甲台地区社協広報部●配布エリア/北六甲台・上山口東

「活動」と「情報」の充実

プラットフォーム機能を今後とも継続して維持し支えるため地区社協の基



この一年の振り返り

昨年「年頭所感」で「地区社協のプラットフォーム機能」について述べました。このテーマを具体化するため五月に「地域活動支援制度」を導入し、六月にはホームページを公開しました。また十一月には初めての多世代交流広場「ぬくもりフェスタ」を開催し、一七六名の参加者を迎えました。

「多様性を包み込む地域に開かれた社協」というプラットフォーム機能が着実に発揮されています。



持続可能なプラットフォームに

年頭所感

会長 日高昭夫

盤強化が課題です。地区社協は「人、物活動、金、情報」の四つの資源で支えられています。このうちボランティア組織である社協では「物活動」が何よりも大切です。この点については、ふれあい喫茶、敬老お祝訪問、ふれあい交流会、子育てサロン、障がい者サロン、福祉講座、街頭募金・バザー・会員会費、カーボランティアや家事支援等、多彩な活動を展開しています。

「情報」についても広報紙の年六回の定期発行と全戸配布、ホームページ公開、ポスター掲示、各会議体のグループライン活用等、充実した発信力を備えています。

高齢化と絶対数不足

活動と情報の充実ぶりに比べ、人（人材）と金（資金）に不安があります。地区社協は、「人」については役員、事業部協力



員、登録ボランティア合わせて百名近いスタッフに支えられています。とりわけ数名の派遣役員を除いて殆どのスタッフが専任であることは他の地区社協にない強みです。反面、スタッフの高齢化と固定化が進んでいきます。これはやりがいや居心地の良さの裏返しという面もありますが、世代バランスが求められている点も否定できません。また近年の活動拡大に伴う絶対数不足も見過ごせません。

持続可能な地区社協に

地区社協の多彩な活動は、地域の多様な層への支援というだけでなく、地域に役立つ活動をしてみたいと思う方にとってかけがえのない受け皿になっているのではないのでしょうか。

そのような社協であり続けるためにも「人材確保」と「会員会費拡大」について本腰を入れた取り組みに着手したいと思えます。

会員会費の募金強化

「金」についても活動拡大に伴う支出増で、単年度の経常収支は赤字です。繰越金を充当して補っているのが現状です。

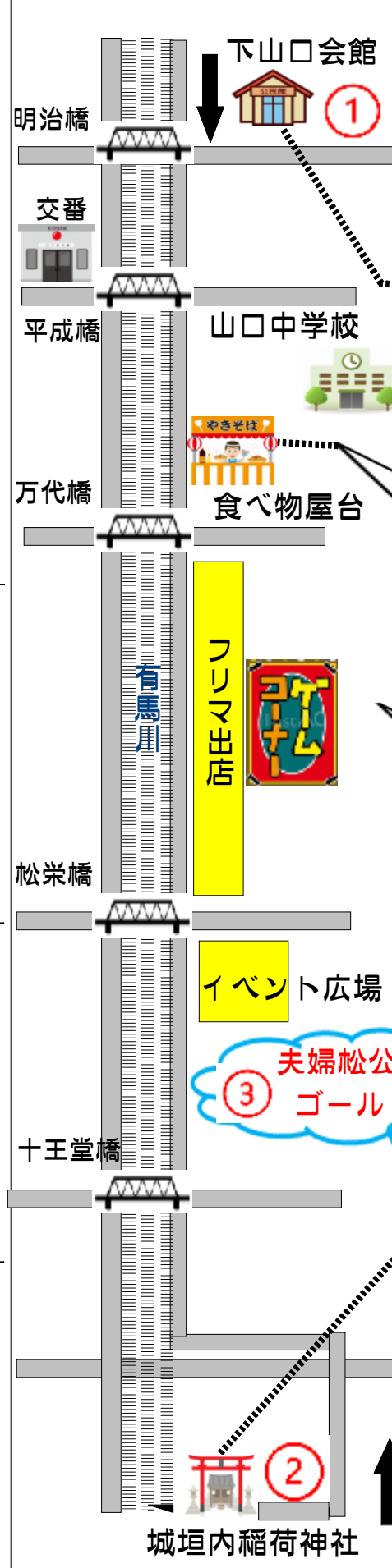
地区社協の収入には市社協の助成金と地域の皆さんによる地区社協活動への資金支援である「会員会費」があります。地区社協の自主財源である会員会費拡大の取り組みが欠かせません。

サクラまつり・マップとルール

ウォークのルール

ルート①→②→③ ②→①→③

折り返しスタンプは12:00まで
押印したカードを提示して夫婦松公園の抽選会に参加
抽選会以外はカード不要
スタンプは3個そろえる必要はない



下山口会館 ①

山口中学校

食べ物屋台

フリマ店

イベント広場

夫婦松公園 ③ ゴール

城垣内稲荷神社 ②

スタート① 下山口会館せせらぎホール入口
11:00~12:00カード配布

山口、北六甲台両ボランティアセンターによる食べ物屋台
ワンコイン地元グルメ

山口中学生ボランティアによるゲーム屋台

スタート② 城垣内稲荷神社
11:00~12:00カード配布

山口ボラセン

カーボラの廃止、ゆうあい喫茶開催
たけのこクラブとの交流、ボッチャの講習

北六甲台ボラセン

チャリティ手芸講座、地区社協交流研修会
ぬくもりフェスタ開催、北六甲台小学校福祉学習協力

山口・北六甲台地区ボラセン交流会

今年も「さくらまつり」を四月六日に企画

両地区の近況報告

頼りにしてまうす！「アレ」

社協研修部の講習会の案内チラシがポスティングされていきました。チラシの「アレ」のコーナーにそれぞれ、久しぶりに参加してみようと思

講師は現役救急隊員

講師は山口の消防署の現役救急隊員の方でした。救急・搬送の件数が予想外に多いのには驚きました。

今年はコロナ禍の対応も重なり、搬送先がなかなか決まらず、大変だった。



たようです。

119番の利用

119番はかけたことはなかったのですが、市政二コースの意外な利用が紹介され、びっくりでした。北六甲台も高齢者が多くなり、救急車のお世話になることが増えているようです。

安心キットの役割

難しいお話ではなく皆さんの経験等に対話形式で聞くことができたり、AEDの使い方を実演で学べたことなどが何よりでした。

また救急隊員の立場から安心キットの効用が話されました。久しぶりに「安心キット」の新しい記入用紙も貰いました。そろそろお世話になるかも：などと考えながら貴重な講習会を終えました。

(北六甲台 中村幸子)

「学ボッチャ」に参加して

昨年十二月十日(日)、山口ホールで開催された西宮市社会福祉協議会主催の「学ボッチャ」に、北六甲台地区社協「ぬくもりチーム」のメンバーとして参加させて頂きました。



開催挨拶と準備体操の後、「ボッチャジャパンカップ」や「ボッチャワールドカップ」など様々な大会に出場経験をお持ちの原田浩明さんから、ボッチャの公式ルールやスキルをスタッフの手伝いのもと教えて頂きました。その後、Aグループ

(四チーム)とBグループ(四チーム)に別れゲームが開始され、会場では原田さんのアドバイスの声や参加者の元気な声援が飛び交ってゲームが盛り上がりました。



は、Bグループで三戦二勝一敗の成績で、惜しくも決勝進出ならず残念で

したが、楽しい時間を過ごしました。

結果はAグループで決勝に勝ち上がった「ジャガーチーム」が、Bグループの勝者を退け優勝しました。

ボッチャは老若男女や障がいの有無を問わず、誰もが一緒にドキドキ、ワクワクしながら楽しめます。公式ルール以外にもダーツのように的を狙う「ターゲットボッチャ」や、ボールを揃える「ピンゴボッチャ」など様々なものがあるそうですので、企画して頂けると嬉しいです。

皆さんも一緒にボッチャを楽しんでみませんか。

(募金事業部 山脇)



各事業部の工夫を凝らしたクリスマス会

ふれあい喫茶

北六甲台



毎月第二水曜日は北六甲台の「ふれあい喫茶」の日です。毎回同じ顔ぶれですが、時々新しいお顔をみるととても嬉しくなります。それは特にイベントのある時です。

十二月はコーラスグループ「アールグレイス」に来て頂きました。クリスマスソングや朝ドラの歌をみんなで楽しく歌い、震災がきっかけ作られた歌には、とても励まされ



ました。アンコールなどがあり、一時間あまりの楽しい時間はあっという間に過ぎました。皆さんとても満足されていたように思います。

これからも色々なイベントを行いますので、毎回心を込めて入れるコーヒーと、お菓子を是非楽しみにお越し下さい。

(地域交流部 岩瀬)

上山口



十二月十五日 上山口「ふれあい喫茶」でもクリスマス

のイベントが行われ、神田さんのギター演奏に合わせてクリスマスソングを参加者全員で歌い、師走に相應しい雰囲気でした。また、スタッフが準備されたケーキには毎年感動し、美味しく頂きました。合間に「ぬくもりフェスタ(感謝祭)」向けに



広報部で作成した社協の活動紹介のスライドショーも上映しました。

(広報部 小出)

ともだちつくるう



十二月十五日「クリスマス会」に参加して下さったFさんからは「普段はお話しした事のないお母さんとお喋りしたり、家にはないオモチャに娘は大喜びでした。また、手作り軍手シアターも楽しかったです。



サンタさんに驚いた娘は泣いてしまいました。が、プレゼントのぬいぐるみを大切に抱えて帰りました。楽しい時間ありがとうございました。嬉しい感想を頂きました。また、子育てコンシェルジュの柴田さんは、「スタッフさんの笑顔と優しさ溢れる広場には、いつも沢山の親子が集まっ



青い空

ています。新米ママが先輩ママに相談したり、お互いに成長を喜び合う雰囲気があります。』と、言っておりました。

(子育て支援部 鈴木)

「青い空」のクリスマス会でTさんが電子ピアノを弾き、三味線と大正琴で「ふるさと」と「さくら」を合奏しました。迷演奏でしたが、Tさんの楽しそうな顔が印象的でした。

(障がい者支援部 松山)

